

Dr,Simpty.の仕様改定に関するお知らせ

2025/4/23

次回の電子カルテおよびレセコンの更新では、以下の変更が実施されます。

特にレセコンメニューの仕様が変更されますので、更新前にお知らせいたします。

【概要】

1. 電子カルテを起動すると、レセコンメニューが自動的に起動するようになります。
2. 複数のパソコンで同じ患者の情報を同時に記録できないよう、排他制御を強化します。
3. 電子カルテから診療行為を呼び出す速度が改善されます。
4. 注意点

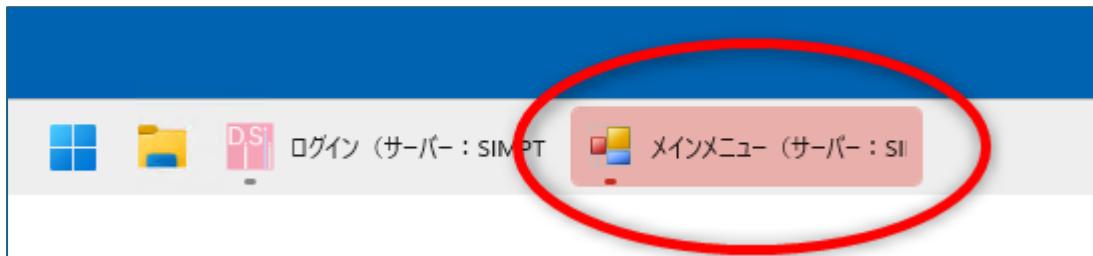
詳細は次ページをご確認ください。

【詳細】

1. レセコンメニューの自動起動について

これまでレセコンメニューは手動で起動する必要がありましたが、今回の仕様変更により、電子カルテを起動すると、レセコンメニューが自動的に起動するようになりました。

- ① シンプティを起動すると、数秒後にレセコンのメインメニューがタスクバーに表示されます。

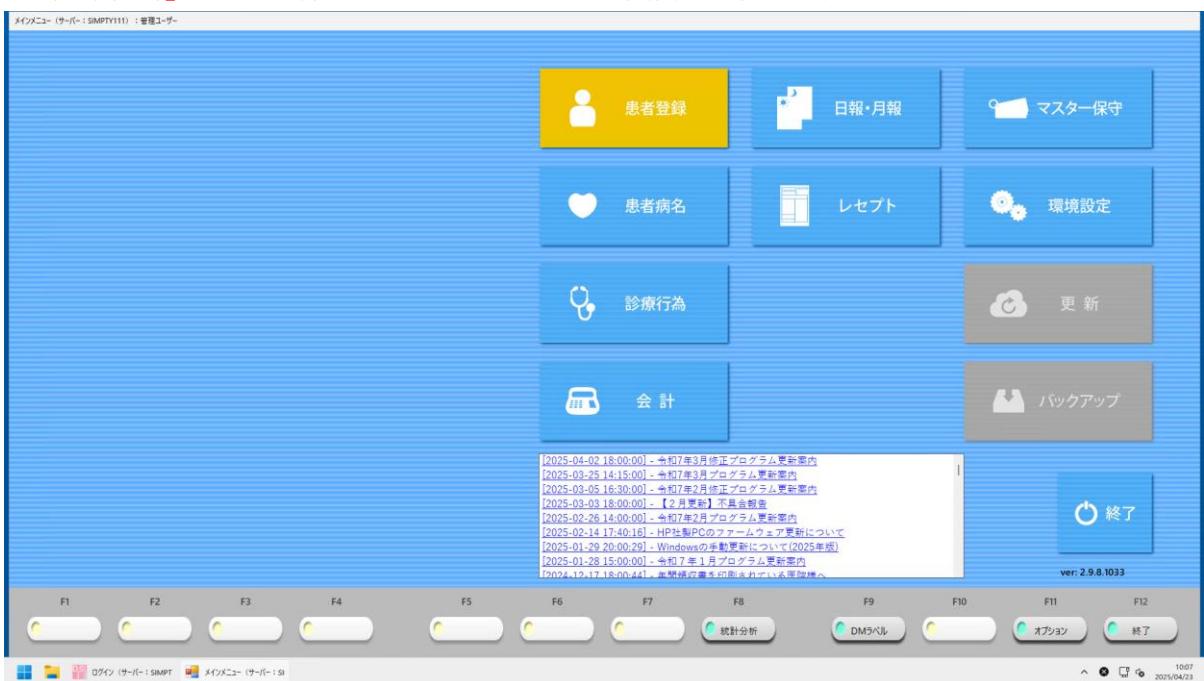


- ② タスクボタンをクリックすると、メインメニューが表示されます。

更新とバックアップはシンプティで行うため、ボタンは無効（灰色）になっています。

【注意事項】

同じパソコンで電子カルテ受付から診療行為画面を呼び出しているとき（会計時）は、この画面の「診療行為」ボタンは押さないでください。会計画面が重複して表示され、エラーになります。



- ③ メインメニューを閉じるときは、従来通り「終了」ボタンをクリックします。

- ④ シンプティを終了すると、レセコンも自動で終了します。

2. 排他制御の強化について

● 医師がカルテ記入中の操作制限の導入

医師がカルテに記入している状態では、レセコンのメインメニューから「患者情報」「診療行為」「病名」メニューを使用して、該当患者を呼び出すことができないよう制御を強化しました。

● 措置の目的

この措置は、以下の問題を防止することを目的としています。

① カルテに記入した病名が誤って上書きされるリスクの回避。

② 保険が削除されたり、有効期限が変更された場合に、該当情報が非表示となる問題の防止。

● 従来から適用されている制限事項

いずれかのパソコンで「患者情報」「診療行為」「病名」画面を使用して該当患者を呼び出している場合、カルテを開くことはできません。この制限は、これまでと同様に引き続き有効です。

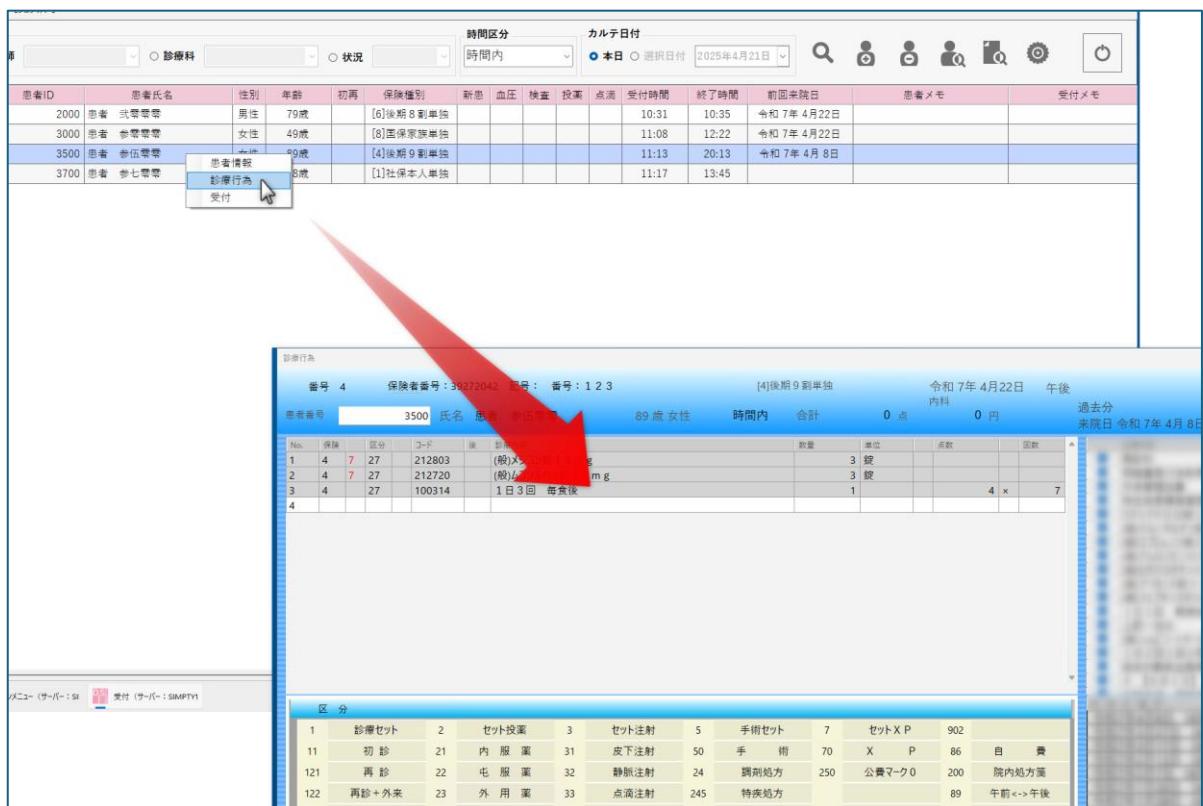
3. 診療行為の呼び出し速度改善について

① 受付画面から診療行為画面呼び出し速度を改善しました。

【お願い】

診療行為画面を呼び出しているときは、他の画面を呼び出して別の操作をしないでください。

必要な場合は、ESCキーまたはF12終了で診療行為画面を閉じてから行ってください。



- ② 受付していない患者様のカルテを登録後に診療行為画面を呼び出すまでの速度を改善しました。
- ③ カルテ登録から会計（診療行為）画面を呼び出すまでの速度を改善しました。
- ④ 診療行為画面呼び出し中に表示されていたピンク色の輪が回るアニメーションを廃止しました。

4. 注意事項

- レセコンの操作中は、電子カルテを終了しないでください。
レセコンのメインメニューから操作をしているときは、電子カルテの終了ボタン（受付画面のドアマーク）を押さないでください。レセコン作業が中断され、作業中の患者の操作ができない可能性があります。
- 受付画面から「診察済」患者の診療行為画面を呼び出したときは、他の操作を行わないでください。
特に、レセコンメインメニューの「診療行為」ボタンは押さないようにしてください。
※会計途中の画面が重複して表示され、エラーになります。